

# 新専門医制度 内科領域 モデルプログラム

当プログラムの特筆点を分かりやすく抜粋しました。詳細・お問い合わせはページ下部にある QR コードからご覧いただけます。

## 希望に応じてフレキシブルに対応出来る内科プログラム

豊富な症例数と  
 科の垣根を超えた  
 充実した指導環境

当科には内科標準コース、Subspecialty 重点コースの2コースがあります。内科標準コースでは連携施設での研修を何年目に行うのかをプログラムの任意に設定出来ます。一方のSubspecialty 重点コースではSubspecialty に比重を置く期間をフレキシブルに対応できます。また2017年に腎臓病センターが設立され腎臓移植も診られる内科医の育成も日々行われています。

### 内科標準コース

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考
専攻医 1年目	内科1	内科2	内科3	内科4	内科5	内科6	1年目にJMECCを受講(プログラム要)						【目標】 症患群 20以上 症例数 60以上
専攻医 2年目	内科7	内科8	内科9	内科10	内科11	内科12	病歴提出準備						【目標】 症患群 45以上 症例数 120以上
専攻医 3年目	連携施設												【修了要件】 症患群 56以上 症例数 160以上 病歴要約 29
その他要件	初診+再診外来を週に1回担当(プログラム要件)												安全管理セミナー・感染セミナーの年2回の受講・CPCの受講

※モデルプログラムとして紹介するこのコースでは連携施設での研修を3年目としているが、連携施設での研修を何年目に行うのかはプログラムの任意とする。(最終的に修了要件を満たすことが重要です)

## 現役専攻医・後期研修医の声

同期の人数が丁度良く、症例の取り合いなどは起こりません。「競争」というより「切磋琢磨」しています。いろいろな手技や経験を積むには最適です。それから残業代もちゃんと払ってもらえますし(笑)、働きやすいです。

消化器内科  
 専攻医 田所 健一 先生

当科は腎臓外科と一緒に移植を中心とした治療を行っており、やる気次第では外科の手技にも積極的に参加できるところが魅力です。また妊娠・出産などにおいて女性が働きやすいような環境作りに積極的なものもありがたいです。

腎臓内科  
 後期研修医 小島 亜希 先生



プログラム責任者  
 腎臓内科  
 血液浄化療法室 科長  
 尾田 高志

腎臓病センター  
 ホームページ

[hachioji-kidney.jp](http://hachioji-kidney.jp)



※上記QRコードは内科専門医プログラム責任科のホームページに飛びますが、内科領域内の各診療科の選択は可能です。



◀ 見学・お問い合わせはこちらから

メール: [h-senmon@tokyo-med.ac.jp](mailto:h-senmon@tokyo-med.ac.jp)

電話: 042-665-5611 (代表)

内科専攻医・先輩医師の現場の声を発信!  
 内科専攻医募集ホームページ

[h-internal-medicine.com](http://h-internal-medicine.com)

